

第7回 キャリア実現(そのためにすべきこと)

「さまざまな価値観があり、選ぶ(所属する)組織によって、価値観は変わる」
↑ ことを理解する。

そのために

- 自分の価値観にこだわらない冷静な判断力
- 功利主義／マーケティング思考でとらえる
- 自らの弱み/不足を正しく理解する
- メンタルタフネスを実現する
- 多様な価値観/他人/異分野/異文化の価値観を理解するのがリーダー

弱みの理解

自らの「売り」「武器」「自信」の冷静な把握

「研究で鍛えた能力」が売りなのか？

「ノリの良い雰囲気作り」が売りなのか？

「武器」の重要性はここにもある。

「武器」を武器として認識するための理解やその能力、精度の高め方も関係する

「能力の限界（自らコントロールできないこと）を認識する

「採用」「キャリア決定」は自らの意志だけでは絶対に成立しない。

自分の弱みだけでなく、自分の権限・機能の限界も冷静に認識する。

自分でコントロール出来ること（＝自分の責任）

コントロール出来ないこと（自らが責任を負う必要がない）

この区別を客観的に行う

どっち？

「相場（株、為替、商品・・・）」

「入試（テストの成績）」

「恋愛」

「ギャンブル」

「出世」

「キャリア実現」

「宝くじ」

「長生き」

功利主義的思考/戦略思考

メンタルタフネス

論理療法(A・エリス)

不合理な信念(イラショナルビリーフ)を排し、論理的合理的に正しい解釈をする。

これが出来れば「就活うつ」にならない。

- 努力すれば採用される
- 研究を頑張れば採用される
- テンプレ通り準備・面接問答集を暗記すれば採用される

- 採用されないのは努力不足？
- 採用された者は研究が完璧？
- 採用されるにはテンプレ通り準備・面接問答集を暗記？

自分を不安にさせる要因・理由をきちんと検証する。

↑ 検証せず「ただ不安」になるのはインテリジェンス欠如

単に素人(友人/家族/就職してもいない先輩/教員?)の意見やソースも不明なネット情報に左右されていないか

対人恐怖・あがり

「あがり」の心理: 自分の想定通り進まない→「あがる」「困る」「オロオロ」「頭が真っ白」「言葉が出ない」

「あがり」←恐怖←苦痛の予知(恥、不合格、自尊心の損傷等)←この中身をしっかり検証

「恥の克服」こそ、メンタルタフネス

多様な価値観の理解

異文化・異分野の価値観

自分の価値観「以外」の価値観とどう向き合うか ← 経験値が有意義

「異なる価値観」とどう付き合う？

「絶対」を求めない

人間とその集合体である「組織」「社会」の不正確さ、気まぐれ、非論理性、理不尽さを冷静に理解できることがリーダー

「思う通りにならない」「理不尽な」環境を受け止め、その中で「目的達成」を考えることがキャリア実現につながる。

功利主義

マーケティング思考

戦略思考